

1、砧とは？

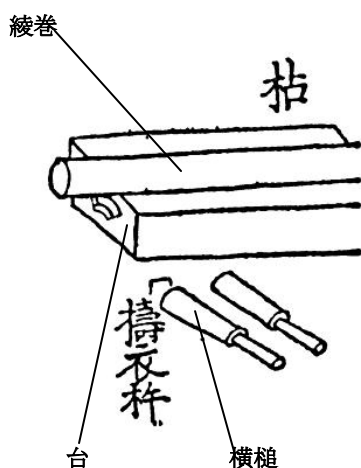
砧は洗濯後の仕上げの工程の一つで、皺を伸ばして艶を出すことを目的として布地を打つ道具、もしくはその行為である。別に言えば、アイロン掛けに相当する。

砧を打つ風習は日本では明治時代に廃れて、今やその道具を探すのは困難になっている。しかし絵巻物や浮世絵などの絵画資料に描かれる例が多く、その様相が判明する。砧打ちの風習と道具は消え去ったが、「砧」という言葉は残り、曲名(邦楽)、地名、料理名、菓子名、道具名などに使われてきた。そのため、本来の砧とは違う意味となっている場合がある。

一方、韓国では1970年代まで砧(다듬이 タドゥミ)を打つ風習が残り、博物館等にその現物資料が所蔵されている。在日朝鮮人社会では、芥川賞1971年度受賞作に李恢成の「砧を打つ女」があるように1960年代までは砧を打つ家庭が残っていた。なお北朝鮮での状況は不明だが、砧打ち風習が今も残っている可能性がある。

2、砧の種類と各部名称

I型—綾巻に布地を巻いて打つタイプ



日本のI型砧 (『和漢三才図会』)



朝鮮のI型砧 (『目で見る李朝時代』)

II型—台の上に折り畳んだ布地を置いて打つタイプ



日本のII型砧 (『大和名所図会』)



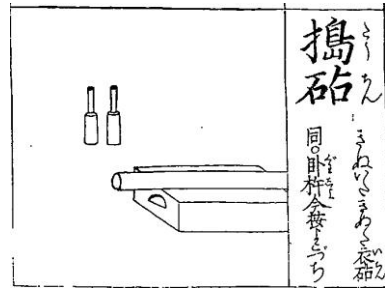
朝鮮のII型砧 (『映像が語る「日韓併合」史』)

3、日本における I 型砧の変化

①台の上に綾巻を直接置く。中世～江戸時代前期

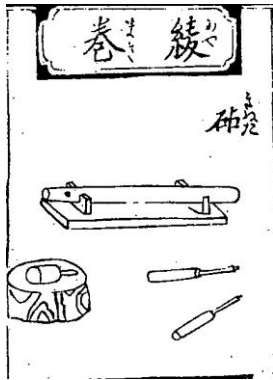


『伊勢新名所絵巻』13世紀末



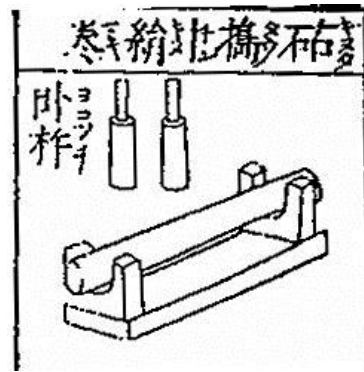
『訓蒙図彙』寛文6年(1666)

②綾巻を固定するための受け枠を取り付ける。



『女用訓蒙図彙』元禄元年(1688)

③受け枠が発達し始めて、綾巻が台から浮き上がる。



『増訓画引和玉図彙』元禄6年(1693)

④受け枠が発達して板柱となる。



『百人女郎品定』享保8年(1723)

⑤綾巻の両端に軸を取り付けて、板柱の袂りに渡し掛ける。



『世津濃登起』安永3年(1774)

⑥板柱の一つに柄穴を開け、綾巻の一方の軸を挿入。もう一つの板柱の袂りに、綾巻の反対側の軸を掛ける。



窪俊満(1757~1820)『砧打ち図』



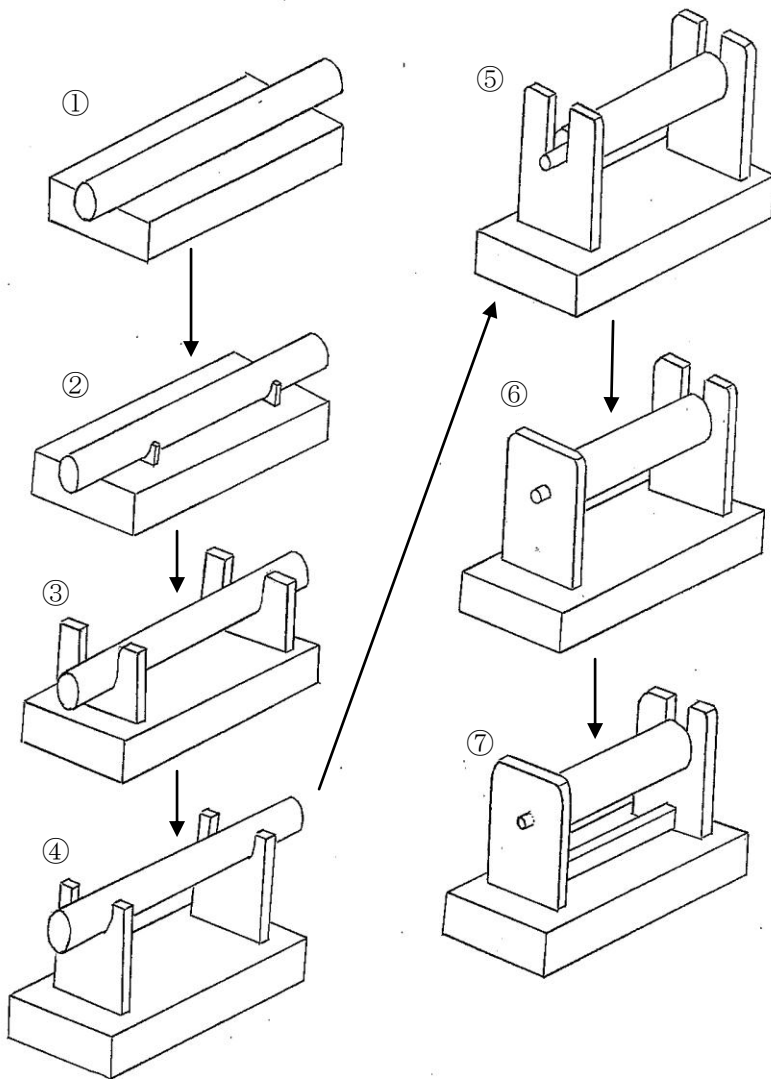
月岡芳年(1839~1892)『月百姿』

⑦板柱を固定する横木を取り付ける。



葛飾北斎 (1760~1849) 『砧図』

葛飾応為 (北斎の娘。生没年不詳)



I 型砧の編年 (概要図)



世阿弥の名曲「砧」の能舞台小道具
左の編年では④に相当する。

I 型砧の現物資料は、管見では遺存例がない。

4、日本のⅡ型砧



中尊寺蔵『大般若波羅蜜多經』見返絵
(12世紀末) 右下が砧打ち



浜野壽随(彫金師)刀の鞘飾り
(江戸時代後期～末)



北海道開拓村所蔵のⅡ型砧
明治時代か



『大和名所図会』
寛政3年(1791)



Ⅱ型砧の台(西宮市立郷土館所蔵)
1937年頃開業のクリーニング屋の道具

Ⅱ型砧の台は、上面が平らなタイプとかまぼこ状に膨らむタイプとがある。
どちらのタイプも、変化がほとんどせずに時間を経過してきた。

5、朝鮮のⅠ型砧 (홍두깨다듬이)

朝鮮のⅠ型砧は絹織物などの高級品を砧打ちするものなので、上位層の家庭だけにあった。

1) 台の上に綾巻を直接置くもので、支え枠がないタイプ — 日本のⅠ型砧編年の①に相当する



国立民族学博物館所蔵

2) 綾巻が転がり落ちないように支え枠があるタイプ



ウィリアム・ジェームス・ホール宣教師の写真
(1890年代前半)



『The National Geographic Magazine』
1933年10月号に掲載



支え枠と台(韓国ブログ「이성복」)



綾巻と支え枠(ブログ「타이하우스」)

このタイプは日本にはない。日本は綾巻の受け枠を置く②に対して、朝鮮では台の横に綾巻の支え枠を置くというタイプに変化したと考えられる。

6、朝鮮のⅡ型砧(넓다듬이)

朝鮮のⅡ型砧は麻・綿織物や布団のシーツなどを打つもので、一般家庭にも普及していた。



国書刊行会『目で見る李朝時代』



『The National Geographic Magazine』
1945年10月号に掲載



在日朝鮮人家庭のⅡ型砧道具(左は辻本蔵、右はリバティ大阪の葉)



せんたく どうぐ
◆洗濯の道具



砧打ち体験学習(韓国)

7、砧道具の製作（朝鮮）



韓国のブログ「와!」に掲載



毎日新聞社『日本の植民地史①朝鮮』

다듬잇방망이(砧の槌)を製作中。壁に立て掛けているのが홍두깨(綾巻)の未製品。

8、朝鮮の洗濯と砧

朝鮮では叩き洗いの洗濯方法が普及していた。これを「砧打ち」と称する例があるが、間違いである。

(洗濯と砧の違い)

- ・洗濯は昼間に川辺で布地を水に漬けながら叩いて打つ。砧は洗濯の終わった布地を家の中で夕方以降に打つ。つまり洗濯は日中の屋外作業、砧は夜の屋内作業である。
- ・洗濯の目的は汚れを落とすこと。砧の目的は皺を取り艶を出すことで、アイロン掛けに相当する。つまり砧打ちは洗濯後の仕上げ工程である。
- ・洗濯は빨래(パルレ)、砧は 다듬이(タドゥミ)で、呼称が違う。
- ・洗濯は一本の横槌を片手で持って一人で打つ。砧は二本の横槌を両手にそれぞれ持って打ち、一人で打つ場合もあるし、二人が砧道具を間に置いて打つ場合もある。
- ・洗濯の際に打つ横槌(빨랫방망이)と砧打ちの際に打つ横槌(다듬잇방망이)は、形態も呼称も違う。
- ・洗濯は川辺の平たい自然石を利用する。砧は砧打ち用の道具を用いる。

以上のように朝鮮の洗濯と砧は、布地を打つという仕草だけが同じで、場所・時間・目的・工程・呼称・叩き方・道具の形態が違うものである。



朝鮮の洗濯

左は『目で見る李朝時代』、右は朝鮮美術博物館所蔵「遊撃根拠地の小川で」